

# 事業箇所総合評価シート

【担当課：地域デザイン推進課】

事業名	補助街路事業	路線名等	(仮称)新県立奈良病院アクセス道路		
箇所名	大和郡山市城町～奈良市石木町				
事業の概要	目的	(仮称)新県立奈良病院アクセス道路は、奈良・西和医療圏からなる北和地域の高度医療拠点病院である新県立奈良病院へのアクセス道路であり、北和地域での救急搬送の確保等による地域住民への質の高い医療の提供を図る。			
	事業内容	事業名：街路改良事業 延長：約1.1km 計画諸元：2車線、幅員7.0～10.75m 整備内容：道路新設			
	着手年度	平成24年度	完成予定年度	平成28年度	全体事業費

事業の必要性	【必要性】
	①絶対に断らない救命救急システムの「最後の砦」となる新病院への自動車、バス等による円滑なアクセスを確保するため、整備が必要 ②地域住民に質の高い医療を提供する北和地域の高度医療拠点病院の病院機能を確保するため、整備が必要 ③災害等の有事においても、病院へのアクセスの代替性を確保するため、整備が必要 ④本路線がない場合、細街路や幅員の狭い県道を通ってのアクセスが多くなり、利用者に不便を強いる他、地域の安全の確保が問題となるため、整備が必要 【緊急性】 ①新県立奈良病院のH28年度中の開院に併せて、早急な整備が必要

評価	上位計画等	・「奈良県地域医療再生計画」(H21.11) ・「新県立奈良病院 基本構想・基本計画」(H23.5)
----	-------	---

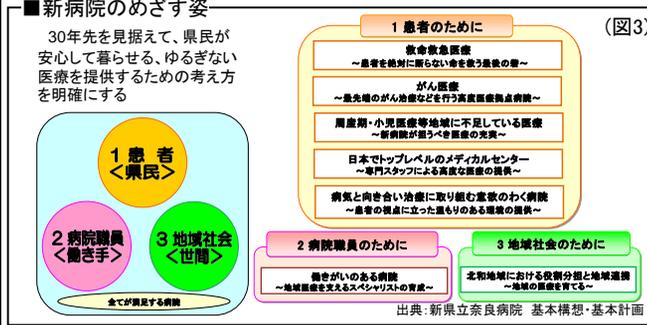
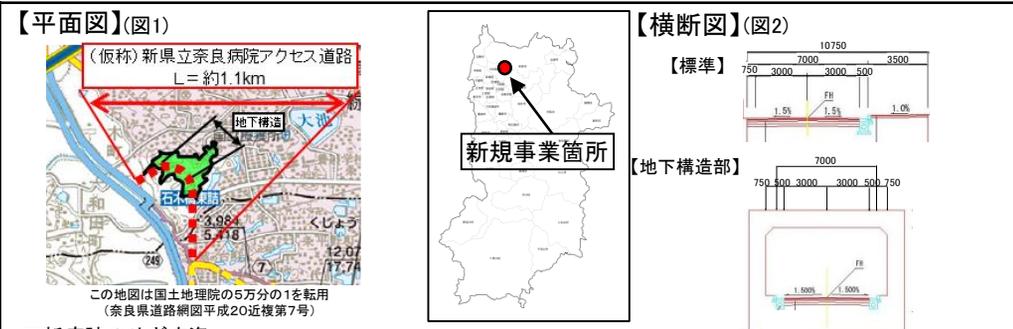
事業の有効性 (事業により予想される効果及び影響)	①北和地域の高度医療拠点病院への自動車、バス等のアクセス確保による質の高い医療の効率的な提供 ・1日あたり外来患者約900人、職員約1,000人の自動車、バス等によるアクセスを確保(自動車流入量は、約1,900台) ②円滑な救急搬送の確保等による絶対に断らない救命救急システムの構築 ・北和地域全体での救急搬送の延べ時間(=人口×(アクセス時間+踏切遮断時間))は、現在の県立奈良病院と同程度の救急搬送のアクセス性を確保(新病院の北和地域全体の延べ時間は、767万分) ③病院敷地の有効な土地利用・良好な療養環境の確保 ・地下構造の部分を活用し、駐車場や緑地ゾーンを確保 ④代替性の確保による有事の際の病院運営も可能 ※本路線は、幹線道路への案内・誘導によりできる限り広域的な交通を排除する計画としていることから、それらを加味することができないB/Cによる事業の有効性の検証はなじまない。
------------------------------	---

コスト削減への取組み	・道路端の側溝に既製品を採用 事業費の減：▲約0.4億円 ・既存の道路を活用した歩行者動線の確保 事業費の減：▲約0.8億円
------------	---

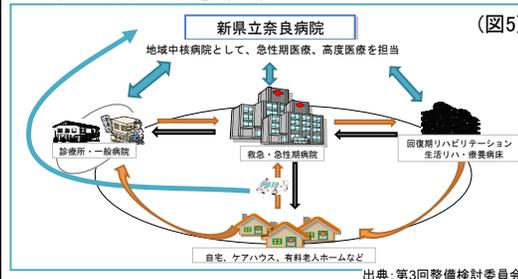
地元情勢等	・社団法人 奈良県病院協会、奈良市六条校区自治連合会が早期事業化について要望
-------	--

他計画・他事業との関連	・新県立奈良病院がH28年度中の開院を予定
-------------	-----------------------

評価結果	左の理由
採択	北和地域の高度医療の拠点病院である新県立奈良病院へのアクセスを向上する道路整備であり、必要性、緊急性が認められるため採択とする。



■地域連携と新病院の位置づけ  
 新病院は、地域の各医療機関と機能に応じた役割分担を行い、相互に連携して患者一人ひとりの診療にあたることで、質の高い医療を地域のすべての方に効率的に提供することを目指す。



※敷地内の測量、建築物の敷地には今後の詳細設計による。なお、敷地内測量→の連絡交通の誘引は併せて検討する。